2015年度
環境活動レポート

2015年7月～2016年6月

SCREW & MACHINE TOOL
MASUNAGA

【発行日】２０１７年９月２０日

＜ 目 次 ＞

はじめに …………………………………………… 3

1. 組織の概要 …………………………………………… 4
2. 対象範囲・実施体制 …………………………………………… 8
3. 使命感・行動の原点・環境方針 …………………………………………… 9
4. 環境目標及び環境活動計画 …………………………………………… 10
5. 環境目標の実績 …………………………………………… 11
6. 環境活動の取組結果と、その評価 …………………………………………… 12
7. 次期環境目標 …………………………………………… 14
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …………………………………………… 15
9. 代表者による全体評価と見直しの結果 …………………………………………… 16

この環境活動レポートは、当社のエコアクション21環境経営システム（以下、ＥＡ２１という）取り組み後の２０１５年７月～２０１６年６月における実績を中心に編集しています。

当社は、「機械工具、器具、鋲螺などの販売、据付業務」を営んでおり、今後も環境配慮型の経営を実践し、社会の生産活動に寄与して参ります。

１．組織の概要

【社　名】　株式会社　マスナガ
【代表者】　代表取締役　森　弘国
【所在地】　〒860-0834　熊本市南区江越２丁目７番８号
【環境管理責任者】　江上勇次郎
【担当者連絡先】　Tel：096-370-5000㈹
Fax：096-370-5001
E-Mail：egami@msng.jp

事業内容

【事　業】　機械工具・器具・鋲螺などの販売、据付け及び付帯する一切の業務
（半導体生産設備保守部品・機械工具・器具・鋲螺・事務機など）

事業の規模

【社員数】　16名（2016年10月に1名入社し　現在は17名）
【土地・建物】　店舗及び事務所　　土地：459㎡　建物：185㎡　延べ床面積：352㎡
【年　商】

2014年（平成26年）6月実績　432,643（千円）
2015年（平成27年）6月実績　449,413（千円）
2016年（平成28年）6月実績　449,067（千円）

機械工具商とは

SCREW & MACHINE TOOL MASUNAGA

私たちが普段使用している様々な製品

製造過程で使用される様々な部品・生産設備を販売しています。

ネジ

工具

物流品

設備

測定器

物販・サービスを通して
様々な現場の創造性を支援する

SCREW & MACHINE TOOL MASUNAGA

SCREW & MACHINE TOOL
MASUNAGA

様々な商品を取扱い

得意先

鉄道
- 九州旅客鉄道株式会社
- JR九州商事株式会社
- 株式会社ケイ・エス・ケイ
- 西日本旅客鉄道株式会社
- ジェイアール西日本商事株式会社

半導体
- ルネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング株式会社
- ルネサスセミコンダクタパッケージ&テストソリューションズ株式会社

自動車
- アイシン九州 株式会社

自動装置
- 東京エレクトロン株式会社
- 株式会社アイディエス

建築
- 出田実業 株式会社

その他　計３００社と取引

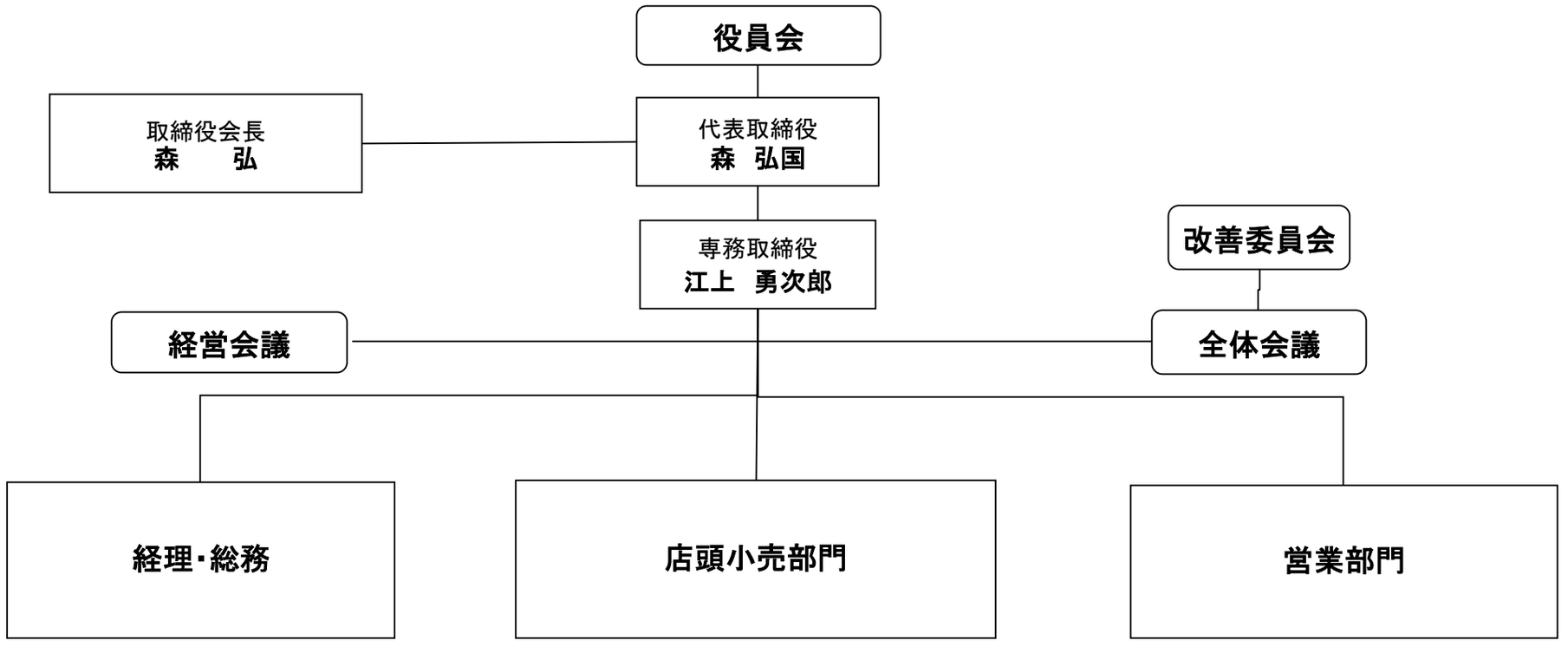
対象範囲

【対象とする組織】　株式会社マスナガ本社

【対象とする活動】　機械工具、器具、鋲螺、環境改善資材等の販売・据付業務

【対象期間】　２０１５年７月～２０１６年６月

実施体制



使　命　感　　信頼を愛で結んで、未来(あした)を拓く
株式会社　マスナガ

代表取締役社長　森　弘国

策定日
２０１２年７月２日
改定日
２０１７年７月１日
株式会社マスナガ
代表取締役

森 弘国

行動の原点（５つの誓い）

ビジョナーとして　一、私は、人間尊重をベースに、最良のパートナーとして社会に貢献する事を誓います。

商　品　一、私は、ニーズにあった価値あるものを提供する事を誓います。

顧　客　一、私は、正確・親切・迅速に、笑顔で対応する事を誓います。

管　理　一、私は、報告・連絡・相談・確認を密にし、業務の効率アップを図る事を誓います。

チームワーク　一、私は、和を大切に人格向上を目指し、いかなる問題も解決する事を誓います。

環境方針

一、　私たちは、営業活動を通じ販売する商品によってお客様の生産性向上に資すると共にCO2排出量を削減する等環境側面からの付加価値を提供し、ヒト（想い）・モノ（資源）・カネ（経済）が循環可能な社会に貢献してまいります。

一、私たちは、自社のCO2排出量・廃棄物量・水使用量・　グリーン購入量等の環境負荷を把握し、適切な管理を継続し事業所内の環境と地球環境の保全に努めます。

一、私たちは、環境問題の現状や環境経営について積極的に学び、意識の高揚に努めます。

一、私たちは、環境関連法・規則を遵守します。

当社は、２０１５年７月～２０１６年６月の環境目標を次の通り定め、実施した。

Ⅰ　長期目標

達成期限　2018年6月

- CO2排出量の目標　　2014年度比　97%
- 水使用量（／人・日）の目標　　2014年度比　97%
- 廃棄物総排出量の削減　　2014年度比　97%

Ⅱ　短期（本年度）目標及び活動計画

(ア)　CO2排出量の削減目標　2014年度比98%
　①　エアコンの適正使用
　②　エコドライブを継続する
(イ)　水使用量（／人・日）の削減目標　2014年度比98%
　①　節水の意識付けのため、各水設備に使用量や節約の目安を掲示する
(ウ)　廃棄物の削減目標　2014年度比98%
　①　廃棄不燃物のうち有価物を分別し再生業者へ依頼する
　②　梱包材の再利用を推進する
　③　ペーパーレス化を推進する
(エ)　グリーン購入　購入品の80%
　①　消耗品はグリーン購入を基本とする
(オ)　環境に配慮した商材の販売促進　売上1800万
　①　三価クロム製品、
　②　LED照明等省エネルギー商材の販売
(カ)　環境意識の高揚
　①　環境関連の講演を受講
　②　植林などの環境ボランティアへ参加
(キ)　地域貢献
　①　地域団体での活動への参加等

５．環境目標の実績

Ⅰ　長期目標

達成期限　2018年6月

‘14年度比

項目	2018年6月 目標値	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績
ＣＯ$_2$排出量	97%	98.4%		
水使用量/人/日	97%	98.2%		
廃棄物総排出量	97%	124.4%		

CO2排出係数は基準年である2014年度の実排出係数数値（0.584）を使用しています

Ⅱ　短期（2015年度）目標及び活動計画

‘14年度比

	目標値	実績値
ＣＯ$_2$排出量	99%	98.4%
水使用量/人/日	99%	98.2%
廃棄物	99%	124.4%
紙購入量(A4)	95%	106.6%
ｸﾞﾘｰﾝ購入(事務品)	購入額の82%	81%
環境関連商材販売	1800万	2000万

６．環境活動の取組結果と、その評価

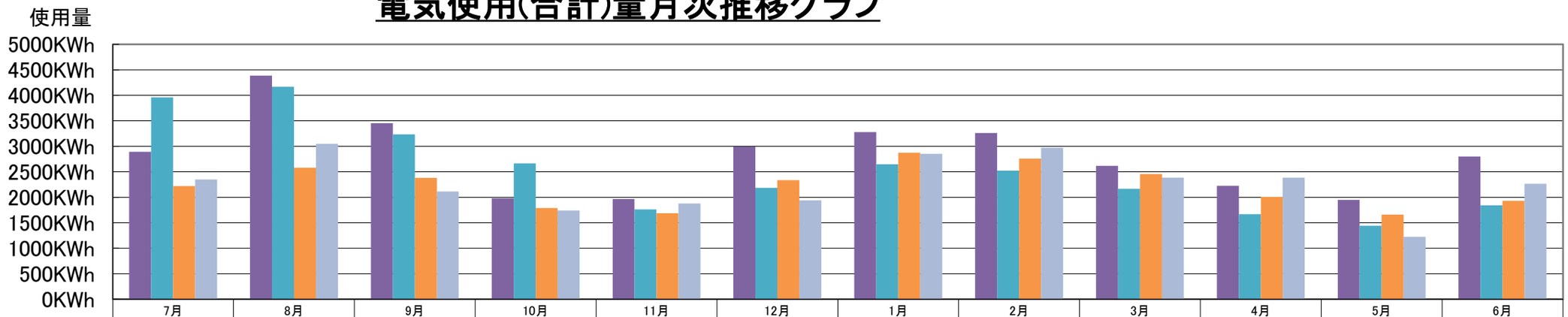
(ア)CO2排出量の削減

排出量は‘１４年度比１．６%減と目標を達成する事ができた。

①電灯（１００V)の購入量は僅かに（０．２%）削減していたが電力（２００V)については２２%と大きく増加、トータルで５．７%増加していた。天候の変化による影響も考えられるが、エアコンの運用に見直すべき点がある。

②　ガソリンの使用量はほぼ昨年並みだったが軽油（トラック）の使用量が少なかったことでCO2発生が５．６%削減できていた。
エコサムによるエコドライブ診断を１～２月に再度実施した。前回は社用車を使用している者のみの診断だったが、今回は通勤も含め運転するもの全員に受信してもらい、よりエコドライブの取組を広げることが出来た。

電気使用(合計)量月次推移グラフ



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2012年	2893	4389	3451	1981	1965	2996	3281	3262	2616	2226	1950	2798
2013年	3960	4168	3237	2666	1763	2185	2646	2523	2166	1668	1443	1843
2014年	2221	2581	2379	1790	1686	2338	2875	2757	2455	2008	1658	1929
2015年	2350	3047	2112	1741	1878	1942	2850	2974	2384	2384	1224	2266

６．環境活動の取組結果と、その評価

(イ)水使用量（一人当り）の削減

地震被害復旧作業の影響は見られず
‘14年度より1.8%の減少となった。
節水の意識が浸透していると考えられる。

(ウ)廃棄物の削減

‘14年度比124%と増加したが、熊本地震により被災した在庫や備品の廃棄や買換えた棚などの梱包物などにより可燃物が約0.5t、段ボールが約0.4tほど増加したと考えられる。その分を差し引くと昨年並みの廃棄だった。

(エ)グリーン購入

事務用品はたのめーる・アスクル等でエコ製品を継続して購入している

(オ)環境に配慮した商材の販売促進

省エネタイプのコンプレッサーの提案で販売実績ができたことや、環境負荷の少ない洗剤の提案など新たな環境商材の取組が出来ている。

(カ)環境意識の高揚

7月26日　同友の森下草刈りへ参加
9月 5日　環境活動役割分担確認 緊急対応の訓練
1月21日　快適職場診断 エコドライブ診断

(キ)地域貢献

10/16 同友会県例会 環境ジャーナリスト村上敦氏講演の運営を熊本同友会地球環境委員会で担当しエネルギーシフトについて学ぶ機会に係わった。

熊本同友会 第２回県例会

エネルギーシフトで地域が変わる、日本が変わる

講師：村上 敦 氏　Office Murakami(ドイツ在住、環境ジャーナリスト)

日本はエネルギー自給率が 4%と海外依存度が高く、国際情勢や円安などの影響で不安定になりやすい中で、原発事故もあり、国内の再生可能エネルギー資源への注目が高まっています。また、日本の高い技術をもってすれば、もっと豊富な再生可能エネルギーを生み出し、自給率が高まるのではないかとの期待もあり、すでに国内でも研究が進んできています。
今回、熊本同友会ではこの例会を通じて、エネルギーシフトを環境面だけでなく、地域の雇用や仕事づくりにつなげることを学び、中小企業としてどのようなことが出来るのかを考えていきたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。

「エネルギーシフト」とは、省エネルギー、地域暖房、再生可能エネルギーへの対応を進め、中小企業の仕事を増やして地域の雇用を増やし、持続可能な社会づくりへの取り組みを進めることです。

■日　時：**10 月 16 日**/金曜日　17：00受付/17:30開会　20:45閉会
■会　場：市民会館崇城大学ホール（熊本市市民会館）大会議室
■参加費：**無料**（会員、社員、ゲスト）

７．次期環境目標

当社は、２０１６年７月～２０１７年６月の環境目標を次の通り設定した。

Ⅰ　長期目標

達成期限　2018年6月

- CO2排出量の目標　2014年度比　97%
- 水使用量（一人当たり）の目標　2014年度比　97%
- 廃棄物総排出量、廃棄物焼却量の削減　2014年度比　97%

Ⅱ　短期（本年度）目標及び活動計画

(ア)　CO2排出量の削減目標　2014年度比98%
- ①　エアコンの適正使用
- ②　不要な電気の消灯を徹底
- ③　エコドライブを継続する

(イ)　水使用量（一人当たり）の削減目標　2014年度比98%
- ①　毎月のグラフ確認

(ウ)　廃棄物の削減目標　2014年度比98%
- ①　廃棄不燃物のうち有価物を分別し再生業者へ依頼する
- ②　梱包材の再利用を継続する
- ③　ペーパーレス化を推進する

(エ)　グリーン購入　購入品の80%
- ①　消耗品はグリーン購入を基本とする

(オ)　環境に配慮した商材の販売促進　売上2200万
- ①　三価クロム製品、
- ②　省エネルギー商材の販売

(カ)　環境意識の高揚
- ①　環境関連の講演を受講
- ②　植林などの環境ボランティアへ参加

(キ)　地域貢献
- ①　地域団体での活動への参加等

８．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟、苦情の有無については、2016年 9月 17日（土）に当社の環境管理責任者が**【環境関連法一覧表(兼)遵守状況チェック表】**で確認し、結果は次の通りだった。
当社の環境関連法は、廃掃法・消防法・フロン排出抑制法・顧客からの要求など

- 法律違反の有無　　無し
- 訴訟の有無　　無し
- 苦情の有無　　無し

創業時より法律違反、訴訟、環境に関する苦情は無い。このまま継続して行く。

９．代表者による全体評価と見直しの結果

CO2削減の目標は今期も目標を達成する事ができたが、電気の購入量や水使用量などが若干増加している。ここ数年は機器導入や買い替えよる削減が大きかったが、今後は小さな節約を積み上げる意識が重要になってくる。環境意識を向上させるための取組を定期的に継続していく。

廃棄物削減の目標については、２０１６年４月の熊本地震によって発生した廃棄物増加が原因で未達成となったが、４・５月の増加分を除けば数値的には減少傾向にある。今後も現在の分別や再利用化の取り組みを継続していく。

エコアクション２１の取組みも１１年目となり、自社の活動に留まらない地域への貢献を目指した活動に取り組み始めた一年だったが、新たな環境関連商材の展開が広がりを見せつつあり、今後のフロン排出抑制法に対しての新たな取り組みとのコラボレーションにも期待したい。

中小企業家同友会での環境活動なども継続し、環境経営の必要性と有益性を発信し地域に貢献していく。

SCREW & MACHINE TOOL
MASUNAGA

熊本県熊本市南区江越2丁目７－８
ＴＥＬ　０９６－３７０－５０００
ＦＡＸ　０９６－３７０－５００１
編集：環境管理責任者　江上勇次郎